

各位

国立大学法人埼玉大学大学院理工学研究科長
石井 昭彦

埼玉大学大学院理工学研究科 生命科学部門 生体制御学領域 助教の公募

埼玉大学大学院理工学研究科では、下記の通り助教を公募いたします。下記によりご応募いただきますようお願いいたします。

記

1. 職名及び人数：助教 1名
2. 任期：任期は5年（再任可。ただし、1回限りとし、任期は2年の範囲内とする。）とし、業績審査により契約期間の定めのない教員とすることがある。
3. 所属部門・領域：生命科学部門 生体制御学領域
4. 専門分野：細胞生物学、動物生理学、内分泌学に関わる分野を専門とする方を募集する。
5. 担当科目：生体制御学、生体制御学実験、細胞制御学演習 など
6. 応募資格：(1) 博士の学位を有する方
(2) 上記専門分野において、高い意欲と優れた業績を有する方
(3) 研究、教育及び大学院生体制御学プログラム及び理学部生体制御学科の運営に熱意があり、学生の教育・研究指導に十分な語学力（日本語及び英語）を有する方
(4) 国籍、性別は問いません。なお、本学は男女共同参画に賛同しています。
7. 着任時期：令和6年4月1日
8. 試用期間：採用から3ヶ月
9. 就業場所：埼玉大学（さいたま市桜区下大久保255）
10. 就業時間：国立大学法人埼玉大学教職員の労働時間、休暇等に関する規則による。
11. 休日：土日、祝日、年末年始（12月28日～1月3日）
12. 給与：年俸制（国立大学法人埼玉大学教職員特定年俸制給与等規則に基づき支給）
13. 加入保険：文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険
14. 雇用者：国立大学法人埼玉大学長
15. 受動喫煙防止措置：屋外喫煙所以外禁煙
16. 提出書類：下の(1)～(5)を1つにまとめたPDFファイルAと(6)を1つにまとめたPDFファイルB（合わせて10MB以下）を作成すること。ファイル名はそれぞれ「応募者名_A」、「応募者名_B」とすること。
 - (1) 履歴書（写真貼付）1通
 - (2) 業績調書 1部（研究論文、招待講演、著書、教育歴、受賞歴、学会活動など）
 - (3) 科学研究費補助金などの競争的研究資金の取得状況（最近5年間）
 - (4) ①これまでの研究概要（2ページ以内）、②今後の研究計画（2ページ以内）、③教育と研究に対する抱負（2ページ以内）
 - (5) 応募者について客観的な意見を求め得る照会者2名の方（指導教員と直属の上司を除く）の氏名、所属、職名及び連絡先（住所、電話番号、E-mailアドレス）（ただし、応募者は照会者に連絡を取る必要はありません）
 - (6) 主な研究論文（5編以内）のPDFファイル※ 履歴書及び業績調書の様式は下のURLよりダウンロードして下さい。
<http://www.saitama-u.ac.jp/recruit/index.html>
※ 書類提出方法 以下①または②のどちらかの方法でご提出ください。
 - ① 郵送 提出書類は紙媒体に加えて、PDF ファイルをCD-RまたはUSBメモリなどでお送り下さい。提出先は、「19. 書類提出先」をご参照願います。
 - ② JREC-IN Portal Web 応募 JREC-IN Portal (<https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop>) において、当該公募情報をご確認のうえご応募ください。なお、JREC-IN Portal への掲載は、本学ホームページへの掲載よりも数日遅れる場合があります。
17. 書類送付期限：令和5年9月29日（金）
18. 選考方法：書類選考の後、面接を行って選考します。書類選考に際しては、特に最近5年間における研究業績を重視します。面接時の交通費は支給しません。

19. 書類送付先：〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255
埼玉大学大学院理工学研究科 生命科学部門 生体制御学領域
小林 哲也 TEL: 048-858-3419 E-mail: tkoba@mail.saitama-u.ac.jp
件名に「生体制御学領域教員応募（助教）」と朱書きし、簡易書留で郵送してください。
応募書類は適正に管理・廃棄し、本人事選考以外の目的には利用しません。
20. 問い合わせ先：〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255
埼玉大学大学院理工学研究科 生命科学部門 生体制御学領域
坂田 一郎 TEL: 048-858-9117 E-mail: isakata@mail.saitama-u.ac.jp
21. 結果通知方法：結果はE-mailにて通知します。
22. その他：埼玉大学では、新規採用教員に、研究環境整備のため交付金（定額）を配分します。埼玉大学は教員組織を見直し、令和6年4月1日より学術院（仮称）の設置を予定しております。全ての教員は学術院（仮称）に所属し、担当部局（大学院理工学研究科・理学部）において教育・研究を行うこととなります。

以上